

まちづくりへの提言

平成29年11月6日(月)

生田原地域まちづくり会議

生田原地域まちづくり会議

役職	氏名	所属等
会長	舟木 廣隆	学識経験者
副会長	杉本 一幸	えんがる町観光協会
委員	多賀 憲雄	生田原地区自治会連合会
委員	和田 あさみ	遠軽町社会福祉協議会
委員	高橋 淳	えんゆう農業協同組合
委員	渡部 正騎	えんがる商工会
委員	遠藤 麻由	えんがる商工会女性部
委員	由利 敏之	遠軽町体育協会
委員	大柳 清美	遠軽文化連盟
委員	堀江 都	遠軽町消防団安国分団

平成29年度における活動経過

第1回	平成29年8月4日(金)	生田原総合支所
第2回	平成29年9月27日(水)	生田原総合支所



H29.8.4 第1回生田原地域まちづくり会議のまとめ

課題等の整理

●イベント・観光

(課題)

スタッフ高齢化、リーダー人材

(アイデア)

ロックフェス、眺望岩ロッククライミング、金山活用、老人と若者交流（漬物づくり、鹿ウォッチングなど）、子ども主役、ゆるキャラ活用、イベントスタンプラリー

(その他)

交流人口増、町全体で取り組むイベント、イベント間連携
イベントの日程調整、ホテル・温泉の活用

●インフラ・生活環境

- ・「防災用の放送設備」「愛の鐘」が故障後、直されていない
- ・ピノキオハウスどうするの？
- ・河川改修によって、ヤマベが棲めなくなる
- ・空き家対策（安国の道営住宅など）
- ・高齢化によりお墓の管理ができなくなる→共同墓地の整備を
- ・JRやバスの公共交通が不便
- ・買い物、飲食などお店が少なくなり不便

●コミュニケーション

- ・安国と生田原の交流・連携を強める
- ・遠軽町がもっと仲良く
- ・合併して12年だが、一体感がいまだに足りない
- ・他地域の情報が入らない
- ・役場職員が何をしたいかわからない
- ・会議などで発言せずに、後で陰口を言う

●人材

- ・イベントや自治会のリーダーが不足、高齢化
- ・人口減少
- ・交流人口を増やしたい
- ・雇用対策が必要（町とハローワークが連携して）
- ・地域おこし協力隊を配置してほしい
- ・お母さんたちが活躍できる地域社会に

●子育て

- ・子ども医療費無償化
- ・学童保育の時間延長（17時→18時）
- ・給付型奨学金
- ・子どもの遊び場がほしい
（屋外：紋別の流水公園のような、ちゃちゃの2階は夏場暑い）
- ・お母さんたちが活躍できる地域社会に

●農業

- ・ファームステイ
- ・町営牧場が使われていない
- ・農業関係の意見が少ないのでもっとふくらませたい

提言その1

「子ども向け体験イベントの開催」

●内容

・子どもがスポーツやダンス、習い事を始めるきっかけとなるよう、体験できるブースが集まったイベントを開催する。



提言その1

「子ども向け体験イベントの開催」

●提案理由

- ・町内にはスポーツやダンスなど子どもができる習い事が多数ある
- ・自分の興味のある習い事に出会える機会を創出

提言その2

「公共交通を絡めたスタンプラリーの開催」

●内容

・JRや路線バスを利用して巡るスタンプラリーを実施し、公共交通の利用を促すとともに、町内の観光施設間の連携により周遊を促す。



提言その2

「公共交通を絡めたスタンプラリーの開催」

● 提案理由

- ・ 広い町内をつなぐ公共交通の利用を促進しなければ、路線を維持できない
- ・ 町内には魅力的な観光スポットが点在しているので、複数個所を見てもらうためにスタンプラリーで周遊を促す

提言その3

「湧別原野クロカンスキー大会生田原コースの創設」

●内容

- ・生田原地域を滑る
新コースを創設する



提言その3

「湧別原野クロカンスキー大会生田原コースの創設」

●提案理由

- ・4地域で唯一同大会のコースがない
- ・全町で大会を盛り上げるとともに、生田原地域の活性化を図る

提言その4

「大学と連携して農業労働力を確保」

●内容

- ・大学（東京農業大学
網走キャンパスなど）と
連携して、夏休み中の
学生に農作業に従事し
てもらう



提言その4

「大学と連携して農業労働力を確保」

●提案理由

- ・農業者は農繁期に人手がほしい
- ・学生は、農作業の体験実習をしながら地域に滞在しながら、こづかい稼ぎとなる
- ・大学と町が協定を結び、組織的に学生と農家をつなぐことでWin-Winの関係を築く